

フィラデルフィア調査報告書

(1)概要及びまとめ

1.日程スケジュール

項目	日付	場所
パッキング	3/3	大阪市内
国内移動	3/3	大阪市内→成田
輸出	3/4	成田→JFK
到着	米現地時間 3/7 (日本時間 3/7)	JFK→ニューヨークマンハッタン→フィラデルフィア
販売先確認	① C	

2 試験区分

処理区

箱サイズ	詰め方と本数	箱数	包装資材	内容物の記載
標準箱 大	通常量 20本	1箱	既存の資材で包装	グロリオサ
標準箱 大	通常量 20本	1箱	リブロングシートで包装	グロリオサ
既存箱 大	通常量 20本	1箱	既存の資材で包装	グロリオサ
標準箱 小	通常量 200本	1箱	既存の資材で包装で包装	スイートピー
既存箱 小	通常量 200本	1箱	既存の資材で包装で包装	スイートピー
標準箱 大	通常量 20本	1箱	既存の資材で包装	ダリア
標準箱 大	通常量 20本	1箱	リブロングシートで包装	ダリア
既存箱 大	通常量 20本	1箱	既存の資材で包装	ダリア
標準箱 大	通常量 30本	1箱	既存の資材で包装	エピデンドラム
標準箱 大	通常量 30本	1箱	リブロングシートで包装	エピデンドラム
既存箱 大	通常量 40本	1箱	既存の資材で包装	エピデンドラム
標準箱 大	通常量 130本	1箱	リブロングシートで包装	ラナンキュラス

既存箱 大	通常量 120本	1箱	リブロングシートで 包装	ラナンキュラス
-------	-------------	----	-----------------	---------

グロリオサ 3 ケース スイートピー 2 ケース ダリア 3 ケース エピデンドラム 3 ケース
ラナンキュラス 2 ケース 計 13 ケース

3 評価（概要）

品目名	詰め方	包装資材	傷み(既存との比較)	鮮度感について(既存との比較)
グロリオサ	互い違いに隙間なく	新聞紙	特になし	特になし
スイートピー	足元を内側に向けて一列に（テープで足止め）	スリーブ	特になし	特になし
ダリア	互い違い（テープで足止め）	新聞紙	特になし	特になし
エピデンドラム	互い違い	新聞紙	特になし	特になし
ラナンキュラス	互い違いに隙間なく	新聞紙	特になし	特になし

4.国内のパッキン作業における箱の使い勝手

使い易さ	種類	評価（◎○×△）	コメント
フタがしめにくい	大	○	
フタがしめにくい	小	○	スイートピーの長いものだと少々窮屈な感じがした。
	既存の箱	○	

5.外国への着荷時点での強度確認

着荷時強度	種類	評価（◎○×△）	コメント
普通	大	○	今回も一部箱のゆがみやつぶれがみられた。
普通	小	○	同上
普通	既存の箱	○	同上

6.デザインに関するヒアリングの結果

デザイン	種類	評価 (◎○×△)	コメント
前回と同様の意見だった。 (日本語を大きく表記するより英語を大きくすべき。日本＝ピンクというイメージはない。各国国旗やイメージカラーを用いることが多いのでそうしてはどうか。また、日本と聞くと赤や日の出をイメージするとのこと。)	大	○	既存のシンプルな箱でも問題はなさそうであった。
同上	小	○	同上
シンプルで、日本の物とはわからない。	既存の箱	○	

(2)写真及び詳細

1. 箱詰めの様子 写真 1-5



写真 1 グロリオサ



写真 2 ダリア



写真 3 エピデンドラム



写真4 ラナンキュラス



写真5 スイートピー

箱が並んだ様子 写真 6-9



写真 6

写真 7

トラックに積載する様子 写真 20-21



写真 8

写真 9

着荷の様子 写真 10-11



写真 10



写真 11

箱の潰れ・破損の様子 写真 12



写真 12

開封の様子（グロリオサ）
標準箱（シートあり）写真 13-14



写真 13



写真 14

標準箱（シートなし）写真 15-16



写真 15



写真 16



写真 17



写真 18

どれも大きなダメージは見られなかった

開封の様子（スイートピー）

標準箱 写真 19-20



写真 19



写真 20

既存箱 21-22



写真 21



写真 22

特に大きなダメージは見られなかった

開封の様子 (ダリア)
標準箱 (シートあり) 写真 23-24



写真 23



写真 24

標準箱 (シートなし) 写真 25-26



写真 25



写真 26

既存箱 写真 27-28



写真 27



写真 28

どのパターンも使用することができなかった

開封の様子（エピデンドラム）
標準箱（シートあり） 写真 29-30



写真 29



写真 30

標準箱（シートなし） 写真 31-32



写真 31



写真 32



写真 33



写真 34

どれも大きなダメージは見られなかった

開封の様子（ラナンキュラス）
標準箱（シートあり） 写真 35-36



写真 35



写真 36

既存箱（シートあり） 写真 37-38



写真 37



写真 38

どれも大きなダメージは見られなかった

ヒアリング先の情報

規模・・・大規模

業態・・・卸

品質（シートの有無）について

大 グロリオサ 既存 ……問題なし

大 グロリオサ シート ……問題なし（シート無しと変わらず）

大 ダリア 既存 ……花傷みがひどく問題あり

大 ダリア シート ……花傷みがひどく問題あり（シート無しと変わらず）

大 エピデンドラム 既存 ……問題なし

大 エピデンドラム シート ……問題なし（シート無しと変わらず）

(3)結論

ダリアやエピデンドラムなど重ねて出荷することが難しい品種によっては、箱に空きスペースができコストを考慮すると厳しい面もあった。

デザイン面では、前回と同様にバックヤードで開封するため、卸の顧客の目に触れる機会は少ないとのこと。また、デザインから日本を想像することはなく、漢字から中国などアジア系だということしか分からないとのことだった。